工業倶楽部

KAGOSHIMA INDUSTRIAL CLUB

発行／（社）鹿児島県工業倶楽部　企画・編集／総務・広報委員会　〒892-0821 鹿児島市名山町9-1県産業会館内
TEL099-225-8012 FAX099-225-8020 http://www.ikic.or.jp　E-mail：info@ikic.or.jp



地域を支える
事業のちから。

●トピックス

社団法人鹿児島県工業倶楽部
法人設立20周年記念式

●部会・プラザ・研究会活動状況

●事務局からのお知らせ

2011
会報：No.48
7

社団法人鹿児島県工業倶楽部

法人設立20周年記念式

平成23年5月26日 14：00～
城山観光ホテル「飛天の間」

式辞

(社)鹿児島県工業倶楽部会長　岩元 正孝



本日は九州経済産業局より、羽江地域経済部製造産業課長、丹下甲一鹿児島県副知事、吉田浩己鹿児島大学長を始めとする多数のご来賓にご臨席を賜り、社団法人鹿児島県工業倶楽部の20周年を祝っていただきますこと、誠に有り難く御礼申し上げます。

この20年間は歴代の会長を始め、役員・会員の皆様の尽力、関係・諸団体のご支援の賜物と厚く御礼申し上げます。

前身の組織から数えますと、社団法人鹿児島県工業倶楽部は40年を超える歴史を有し、その前身の設立はテクノポリス構想設立条件の受け皿の一つにまでさかのぼります。

平成２２年度は日本経済が、永い停滞から抜け出す兆しが見えた年でした。しかし、平成２３年３月１１日のマグニチュード9の地震、津波、そして原子力発電所の事故が発生し、その影響はドミノ現象を起こしています。今回の災害からは、首都圏への一極集中の反省、リスクが問われております。

さて、鹿児島県では本来、鹿児島将来ビジョンに掲げた新時代に対応した戦略的な産業興しを推進する為、分野別計画として鹿児島製造業振興方針を作成しております。この方針は平成23年度から27年度までの５年間を目標年度とし、六つの振興方針と四つの産業別の取り組みを挙げております。振興方針の六つの柱として、

1　地域資源を活かした新産業育成。
2　オンリーワンの技術によるきらりと光る技術の育成。
3　新成長分野への参入、企業誘致の推進。
4　アジアへの展開支援。
5　立地企業へのフォローアップ
6　産業人材の育成・確保

を挙げております。

鹿児島県工業倶楽部でも幾つかの部会を立ち上げておりますけれど、この方針の中に出てきました。アジアとの関わりであります。
部会として、輸出部会の創設等出来たらいいなぁと考えております。

今申し上げました、六つの方針に共鳴し、事業を今後推進していきたいと考えております。

昨年度より会長職をお引き受けする中で、進出企業と地場企業のコミュニケーションをテーマにして参りました。今年は地場企業の持つ設備を調査し、公表し、このテーマを推進していきたいと考えます。

鹿児島の工業界の持つ、他の地域との優位性を、立地と設備でアピールしていきたいと考えております。

歴史はどんどん流れていきますけれど、まさに今年は歴史の流れが不連続になる時ではなかろうかと考えております。そういった中におきまして、社団法人鹿児島県工業倶楽部の新たな存在意義を考え、会員の声を鹿児島県に届けていくということもしたいと考えております。

工業倶楽部の新しい使命として、進出企業をコアとした鹿児島県における工業のクラスター設計を考え、会員企業の技術的問題の解決を鹿児島大学、工業技術センターで解決し、プラットホーム化を強化したいと考えております。また本年、20周年記念事業として行います、食と健康シンポジウムも皆様の協力で実施していきたいと考えております。

最後に、本年は公益法人制度改革に伴う移行手続きをしなければなりません。このことを検討しながら、進出企業と地場企業とのコミュニケーションを図る目的達成の為、産業支援センターとの連携を強化し、結果的に会員拡大に繋げていきたいと考えております。

関係・諸団体の皆様に更なるご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げ、ご挨拶といたします。

ありがとうございました。

九州経済産業局長
滝本 徹 氏 祝辞
（代読 地域経済部製造産業課長　羽江 秀男 氏）



九州経済産業局長の滝本でございます。本日は、スケジュールの都合がつかず、残念ながら記念式典に参加出来ませんことをお詫び申し上げます。

まずは、この度の東日本大震災で亡くなられた方々の御冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された方々に対しお見舞いを申し上げたいと思います。

震災では、直接・間接を問わず広く多くの国民・事業者の方々に影響が及んでおり、経済産業省と致しましても、被災事業者に対する金融制度の大幅な拡充等、資金繰り支援に万全を期して参る所存であります。

さて、このたび、鹿児島県工業倶楽部におかれましては、創立20周年の節目の年を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。今後、ますますの発展を期待しておりますが、本日、その記念式典が開催されるに当たりまして、一言お祝いの言葉を申し上げます。

さて、皆様ご存じのとおり、雇用は厳しいながらも持ち直しの動きがみられるなど、回復の動きがみられていた九州地域の経済は、一部に弱い動きがあるなど、東日本大震災の影響により、弱含んでいる状況にございます。

政府としましても、こうした厳しい状況から一日も早い復興を目指して、各種政策を投入してきておりますが、九州地域におきましても、昨年度策定致しました「九州成長戦略アクションプラン」を着実に実行し、力強い回復の一助になることを目指しております。

鹿児島県工業倶楽部におかれましては、この20年間に異業種交流会や産学官の連携など、国や県、大学や高専、工業技術センター等との産・学・官連携を密にして、鹿児島地域以外との連携も含めた幅広い活動で、数多くの成果を挙げられてきております。特に、私ども九州経済産業局との関係では、全国７つの認定事業の１つとして「農商工等連携支援事業計画」が平成20年9月に認定され、5年間の事業計画に沿った具体的な活動を現在進めていただくなど、当に鹿児島地域の特徴を活かした異業種交流活動に積極的に関与されてきており、引き続き、貴団体の積極的な活動をお願いしたい所存でございます。

また、各役員を始め、多くの会員企業の皆様におかれましては、当局の半導体、環境、バイオの各産業クラスター事業へのご支援や、ものづくり日本大賞などのものづくり産業の振興、健康関連サービスなどの新たなビジネス展開など、数多くの分野でご支援、ご協力を頂いておりますことを、深く感謝申し上げる次第でございます。

九州経済産業局におきましても、日本経済を再び力強い成長軌道に乗せていくため、九州域内外を含めた関係機関との連携を強めていくこととしており、九州地域の特性を活かした事業等を通じ、ものづくりの活性化と地域活力の向上に取り組んで参る所存でございますので、今後ともより一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

最後に、貴団体の今後、益々のご発展と、会員企業様をはじめとする、関係者の皆様方の今後益々のご発展を祈念致しまして、私の挨拶とさせていただきます。

鹿児島県知事
伊藤 祐一郎 氏 祝辞
（代読 鹿児島県副知事　丹下 甲一 氏）



このたび、社団法人鹿児島県工業倶楽部が創立20周年を迎えられましたことを、心からお喜び申し上げます。また、工業倶楽部会員の皆様には、日ごろから本県の産業振興に多大な御支援・御協力をいただいておりますことに対しまして、深く感謝を申し上げます。

鹿児島県工業倶楽部におかれましては、平成3年4月、異業種交流を深めるとともに、産学官連携を強化しながら、技術の高度化や新技術・新製品の開発による新事業分野への進出等を促進し、本県産業の健全な発展を図ることを目的に、当時の鹿児島県工業技術振興会を母体として設立されました。

設立後は、「出会いのプラザ」など各種異業種交流の推進に加え、各部会・地区プラザの活動による新事業分野への展開促進や、京都工業会・中国江蘇省の産業界との交流に取り組まれ、近年は鹿児島大学と包括連携協定の締結、農商工等連携に取り組まれるなど、本県産業の振興と発展に大きく貢献されていますことに、深く敬意を表します。

さて、本県では平成20年3月に策定した「かごしま将来ビジョン」に掲げた「新時代に対応した戦略的な産業おこし」を推進するために、平成23年度から向こう5年間にわたって本県製造業が取り組むべき方向性をまとめた「かごしま製造業振興方針」を去る3月

に策定したところであり、本方針に基づき、農林水産業や観光産業など他分野とも連携を図りながら県内産業振興に取り組むこととしています。

そのような中で、鹿児島県工業倶楽部の活動は誠に意義深いものがあり、今後さらなる取組を期待しているところであります。

鹿児島県工業倶楽部におかれましては、今後とも本県の産業施策に一層の御理解と御協力を賜りますとともに、産学官連携や異業種交流などを通じて、本県産業の発展に御尽力いただきますようお願い申し上げます。

終わりに社団法人鹿児島県工業倶楽部の今後ますますの御発展と、関係の皆様の御健勝・御活躍を祈念しまして、祝辞といたします。

鹿児島大学長
吉田 浩己 氏 祝辞



鹿児島大学長の吉田でございます。

さて、鹿児島県工業倶楽部様におかれましては、平成3年4月1日の法人設立から今年で20周年をお迎えになられましたことをお喜び申し上げます。

3月11日に東日本に巨大な地震と津波が発生し、未曾有の災害を引き起こしました。被災地の悲惨な状況に今日ご出席の皆様をはじめ、日本全体が悲しみに包まれております。

東日本大震災で被災されました方々に、心からお見舞い申し上げ、犠牲になられた方々に対しまして、深く哀悼の意を表します。鹿児島大学では、直後より支援のための対策本部を立ち上げ、支援に取り組んでおりまして、今後も皆様方と協力して被災地域に支援を行っていく所存でございます。被災地域の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

さてこの20年間、県内の産業振興や雇用拡大、新規事業拡大と地域経済に多大な貢献をされてきましたことに敬意を表します。

鹿児島大学に対しましても、多大なご理解とご支援に対しまして心から感謝申し上げる次第であります。

鹿児島県工業倶楽部と本学は平成17年10月21日に包括連携協力協定書を締結いたしました。この協定は、互いに交流を深めることによって、相互の資質の向上及び鹿児島大学と県内企業との連携強化を図り、地域社会に貢献することを目的としております。

この協定に基づき、地域産業の発展に貢献する優秀な研究業績を挙げた大学院生を表彰する「工業倶楽部賞」の制度を設けていただきました。卒業式における工業倶楽部会長と学長の連名による表彰状の授与は、学生の大きな励みになっております。

本年度は、焼酎粕の飼料化に取り組み優秀な研究業績を挙げた農学研究科の神園巴美さんと、塩酸を電気分解して生成される微酸性電解水の有効利用に関する研究に取り組み優秀な研究業績を挙げた、連合農学研究科の大学院生でタンザニアからの留学生であるイッサ・ザカリアさんに授与いたしました。

また、包括連携協力協定の昨年度の連携事業等の実績としましては、農水産資源活用等の産学交流シンポジウムや各種セミナー等の開催、県内大学等地域貢献シンポジウムの共催、南さつま市や霧島市での大学の出前相談会等を実施いたしております。

このほか、工業倶楽部及び鹿児島県と本学では、文部科学省に対して共同して「地域産学官共同研究拠点整備事業」を提案し、採択されました。これに基づき地域、産業界が共同で利用出来る、食品関連の発酵・醸造分野の技術開発や事業化促進、人材育成の拠点として「鹿児島イノベーションセンター」が本学内に発足しております。

また、平成22年度文部科学省の「イノベーションシステム整備事業」で採択されました、「産学官連携コーディネーター」は、年5回の地域コーディネーター会議や研究シーズの広報、共同研究のマッチング等、工業倶楽部の支援をいただき、産学官連携活動を行っております。

「地域とともに社会の発展に貢献する」ことを基本理念としております本学といたしましても今後、産学共同による研究と提案の仕組み作りや、産学連携協力教員のデータベース化などを推進し、地域の活性化に貢献したいと考えております。

最後になりましたが、本日の総会と法人設立２０周年事業を迎え、鹿児島県工業倶楽部と鹿児島大学の連携の絆を深め、鹿児島県工業倶楽部と今日ご出席の皆様、鹿児島県内の企業のさらなる発展と活躍を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

本日は誠におめでとうございました。

歴代会長表彰

法人設立20周年に当り、これまで先頭に立って工業倶楽部の今日を築き上げてこられた功績を讃え功労に感謝して歴代会長を表彰しました。



本坊 慶吉 氏　坂元 昭夫 氏　川崎 暢義 氏

IT に関する総合的なエキスパート企業・・・
それが「鹿児島頭脳センター」の姿です ！

◆ こんなお悩みありませんか ？

- IT が経営に役立っているかわかりにくい。
- IT があまり有効活用できていない。
- IT のことは難しい！分からない！
- 社内に IT の専門家もいない！　しかし，IT 化は避けて通れない。
- 結局はベンダーや IT メーカー任せ，言われるがまま！
  - ・身の丈にあった IT 化なのかどうかも判断できない
  - ・高いのか安いのかも分からない
  - ・開発や運用が上手く行かなくても，ベンダーの言いなりにならざる得ない
  - ・最初は安く導入してくれるが，その後は事あるごとに費用が発生し，妥当なのかどうかも分からない
  - ・他に実績や技術力のあるベンダーもいるのに，比較検討もできない
  - ・IT はプロかもしれないが，こちらの経営や業務のことをなかなか理解してくれない





鹿児島頭脳センターは，企業にとっての「IT 化のあるべき姿」を支援

- 経営と IT の橋渡し　＆　人と人との橋渡しを実現
- IT についての最新知識と実務能力を有した人材が対応
- ベンダーや IT メーカーに依存しない中立性を確保
- 常にお客様の立場に立って効率的で効果的な IT の適正化を実現



企業に不可欠な IT についての多くの悩みや思いを解決する！
IT 全般を支援する総合的な企業で，経営に役立つ IT，IT 活用の悩み解決など，検討～導入・活用までの様々な局面で IT メーカーにできないひと味違った技術支援を実施します。

株式会社　鹿児島頭脳センター

本　社：鹿児島市名山町４番３号(鹿児島県地域振興公社ビル６F)
TEL：099-216-2260　FAX：099-216-2271
霧　島：霧島市国分上野原テクノパーク４番 30 号(上野原ビジネスプラザビル内)
事務所　TEL：0995-46-8871　FAX：0995-46-8915
URL：　http://www.kbc3.co.jp　　E-Mail：　info_kbc@kbc3.co.jp

工業倶楽部「会報」で会社のPRをしませんか!!

自社の新商品･新製品･情報を発信してみたい、新しい技術開発、商品作りのための情報募集や連携企業募集などとして、ご活用ください。
詳しくは、工業倶楽部事務局(総務･広報委員会)まで。

210×297mm	¥20,000
210×148mm	¥10,000
105×148mm	¥ 5,000

地球環境に貢献する企業活動の実践

林建設株式会社

HAYASHI

代表取締役　林　隆秀

昭和40年に創業し、総合建設業として、一般土木、特殊土木（法面保護工事、橋梁・トンネル補修工事）、建築を中心に、鹿児島市、伊佐市、霧島市、奄美市に拠点を置いて広く県内一円で営業活動を展開しております。

中でも赤外線サーモグラフィーの画像による道路・法面・建物等の老朽診断、NETIS（No. QS-090030-A）登録された、水抜き穴補強筋「ワレン」と言った新技術開発にも日々研鑽を重ねております。

また、グループ企業各社により運輸・生コン・教育・飲食・ホテル・人材派遣と幅広く取組み、新しくグループホームを開設し介護事業も展開して、人・自然・社会に貢献する企業活動を実践しております。

本　　社／鹿児島市真砂町2-11　☎099-254-8612
事業本部／伊佐市大口里853-2　☎0995-22-1331
霧島支店／霧島市隼人町住吉1515-1　☎0995-42-6799
奄美営業所／奄美市名瀬大熊612　☎0997-53-1470

OHSAS　18001
ISO　9001
ISO　14001
認証登録

部会・プラザ・研究会活動状況

プラザ　八日会

4月8日（金）　19：00～　「寿庵」鹿児島中央駅西口店

（1）情報交換

84プラザ

4月5日（火）16：00～　美華園

（1）「鹿児島県の来年度新規事業等について」
講師　時田　光一氏
（財）かごしま産業支援センター　専務理事
（2）会員の近況報告

6月28日（火）16：00～　美華園

（1）視察旅行検討会　（2）会員の近況報告

さつまプラザ・プラザさくらじま・福祉ビジネス研究部会合同

4月27日（金）18：00～　県市町村自治会館5階501号

（1）情報交換

6月22日（水）18：00～　県市町村自治会館5階502号

（1）情報交換

プラザいもづる

6月17日（金）18：30～　県庁展望レストラン「ラテラス」

（1）HPリニューアルと会報についての報告
（2）会員の近況報告と倶楽部への要望等

地区プラザ　南薩地区プラザ

6月25日（土）18：00～　南さつま市

（1）活動テーマ　（2）近況報告、意見交換会等

川薩地区プラザ

4月18日（月）16：00～　川内ホテル

（1）「鹿児島県の来年度新規事業等について」
講師　時田　光一氏　（財）かごしま産業支援センター　専務理事
下津貫　洋氏　〃　新産業育成課長
（2）情報交換

6月20日（月）14：00～　川内ホテル

（1）「企業と大学の連携を求めて」
講師　遠矢　良太郎氏
鹿児島大学産学官連携推進機構　産学官連携コーディネーター
（2）各社の取り組み状況（情報交換）

出水地区プラザ

6月10日（金）18：00～　鶴の町商工会館　野田支所

（1）「最近の貿易事情について」
講師　弓場　秋信氏　弓場貿易㈱　代表取締役
（2）情報交換

事務局からのお知らせ

「農商工出会い交流会ｉｎ出水」の開催について

・平成23年7月28日(木)
・鹿児島から参加の場合　11時40時
・鹿児島中央駅西口出発(バス)
・企業見学　(株)イーエムエフ
(LED等電子部品製造)
・交流会　ホテル　キング　出水市
15時～講演会
演題「忍者が教える"食の産学官連携講座"」
講師　鹿大水産学部前田広人教授
意見交換会
「地域おこしと農商工連携」
17時～懇談会(参加費４０００円)

ベンチャープラザ鹿児島「二水会」第50回記念大会の開催について

・平成23年8月10日(水)　15時～
・鹿児島東急イン☎099・256・0109)
・内容　第Ⅰ部　記念式典
第Ⅱ部　記念講演会
(株)やずや　矢頭　美世子会長
第Ⅲ部　ビジネスプレゼンテーション
(株)エルム、(株)ストーンワークスほか
第Ⅳ部　交流会
(情報交換・名刺交換等)
・問合せ等　かごしま産業支援センター
(☎099・219・1272)
・参加費　三千円

各種イベント等について

①"食"の大商談会　北の逸品ＶＳ南の逸品
・23年10月19日(水)～20日(木)　10時～
・池袋サンシャインシティ　ワールドインポートマートビル4Ｆ
主催　鹿児島アグリ&フード金融協議会
出展申し込み期限　7月15日(金)
・問合せ等　南の逸品商談会運営事務局
(☎03・5209・1058)
②平成23年度　研究成果発表会
・23年7月20日(水)　13時30分～16時30分
・鹿児島県工業技術センター　霧島本庁舎
・口頭発表(6研究)・ポスターセッション等
・問合せ等　鹿児島県工業技術センター
(☎0995・43・5111)
③情報モラルと人権への配慮
Ｓｅｍｉｎａｒ２０１１ｉｎ鹿児島
・23年7月26日(火)　13時～17時
・城山観光ホテル　ルビーホール飛天
講演、パネル討論他　(参加無料)

工業倶楽部のホームページについて

鹿児島県工業倶楽部では、今年度ホームページのリニューアルに取り組んでおり、会員のリストなどについてご協力をお願い致したところです。

あわせて、会員のための「Ｍｅｍｂｅｒ'ｓ Ｎｅｗｓ（会員情報発信）」コーナーが設けられます。どなたでも一定期間、商品や技術の紹介、要購入財や事業の展開状況等を会員及び閲覧者に見て頂こうとするものでございます。

現在取り扱い要領等を策定中でございますので、別途案内いたしますまでしばらくお待ちください。





来春の採用枠拡大等について

◎6月30日(木)「雇用枠拡大」について
要請のため鹿児島市長(同市経済局的場商工振興部長)が来局されました。
◎7月1日(金)「来春の新規学卒者の採用枠確保」について
要請のため、文書を携えて次の三方が来局されました。
・鹿児島労働局長(今野文平局長)
・鹿児島県知事
(白橋大信商工労働水産部長)
・鹿児島県教育委員会教育長
(原田耕藏教育長)
岩元正孝会長(カクイ(株))が対応されました。

・問合せ等
(財)ハイパーネットワーク社会研究所
(☎097・537・8180)
④製造業海外販路開拓支援セミナー
・23年8月5日(金)　14時～17時50分
・鹿児島東急イン　2Ｆ　アルノー
講演、事例発表、相談会、交流会(三千円)
基調講演「中小企業の中国への展開方策について」
アルバック中国　岩下　節生氏
・問合せ等　(財)かごしま産業支援センター
(☎099・219・1274)

工業倶楽部会員募集
こんな企業を求めています！

●積極的に参画する"意欲のある企業"
●企業間の枠を超えて交流を深めたい企業～自己啓発、自己研鑽～
※入会資格等はホームページをご覧ください。